

缶切り？ カラッパのハサミ

カラッパの仲間は貝殻を割って中身を食べます。
そのため、独特な形をしたハサミを持っています。

カラッパの仲間は、丸みを帯びた独特な姿をしています。また、普段は砂の中に潜り、大きなハサミで顔を隠していることから、英語でshamefaced crab(恥ずかしがり屋のカニ)と呼ばれることがあります。一見おとなしそうな彼らですが、貝やヤドカリなどの貝殻を割って中身を食べます。固い貝殻をどうやって割るのでしょうか。

多くのカニは、物を切ったり砕いたりするのにハサミを使っています。しかし、カラッパの仲間は、ハサミを缶切りとして使用するのです。

カラッパのハサミは、左右で形が違います。右側のハサミの根元には、他のカニにはない大きな突起があり、この突起を使って、缶切りと同じ要領で貝殻を割ることができるのです。左のハサミは、貝をつかんだり、回したりするのに使います。こうやって貝やヤドカリの中身だけを取り出し、食べることができるのです。

カラッパの仲間



メガネカラッパ

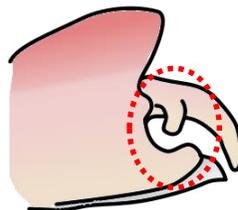


トラフカラッパ

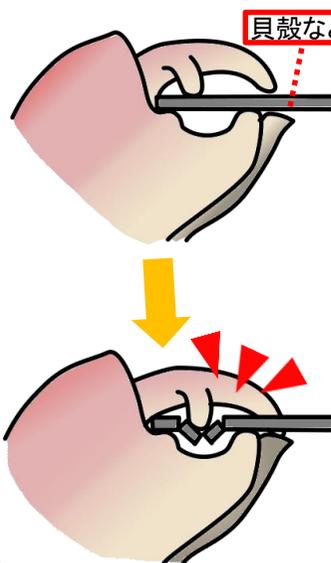
カラッパの食事



トラフカラッパのハサミ



カラッパの右ハサミには突起があり、これを缶切りのように使って貝殻を割る



左右のハサミを上手に使って、缶切りのように殻を割っていく



カラッパに食べられた貝